

流域治水の取り組み 流域治水オフィシャルサポーター（その12）

1. 「あまみず交流会」での話題提供

「あまみず交流会」は、公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会が主催する情報・意見交換の場であり、個々の企業では得ることが難しい新たなニーズ、人脈、技術動向等を発掘し、雨水ビジネスの発展に資することを目的として運営されています。

本レポートでは、当社技術者が昨年引き続き令和7年12月に話題提供・発表した「みんなに知ってほしい『調整池』のこと」の内容を紹介します。なお、本交流会は今後も継続的に開催され、現在は対面および Zoom 併用で実施されています（参加無料）。また、話題提供者の募集も随時行われています。

※雨水貯留浸透技術協会： <https://arsit.or.jp/>

「あまみず交流会」開催のお知らせ

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会
ARSIT Association for Rainwater Storage and Infiltration Technology

開催日：2025年12月10日（水） 16：00～17：30
会場：雨水協会 会議室【会場参加・Web】※ 詳細は協会のWebページをご覧ください。
話題提供：「みんなに知ってほしい『調整池』のこと」
協賛：三井共同建設コンサルタント（株）
参加費：無料
参加申込：以下、URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/BguoxtCejarAUkxg9>
次期以降の話題提供をご希望の方は、以下へご連絡ください。
雨水協会 大会：k-onishi@arsit.or.jp

図1 「あまみず交流会」の開催案内

2. みんなに知って欲しい調整池のこと

話題提供では、流域治水に関連する調整池に焦点を当てた発表と意見交換を行った。

□発表項目

- 調整池と調節池の違い
- 技術基準
- 構造形式
- 洪水吐き

- 調整池の許可権者
- 各自治体における調整池等の技術基準、参考図書
- 意見交換 など

1. 調整池と調節池の違いって知ってますか？

調節池（ちょうせつち）
主に河川管理者が設置する恒久的な施設です。
河川の氾濫を防ぐことを主な目的とし、河川の流出能力を超える洪水を一時的に貯留します。

調整池（ちょうせいち）
主に宅地開発者や土地開発者が、住宅地や団地などの開発に伴い暫定的に設置する施設です。
開発によって失われた保水機能を補い、雨水の流出量を調整することで洪水被害を防ぐことを目的としています。

Mitsui Consultants Co., Ltd. 三井共同建設コンサルタント株式会社

3. 気づいたことを書いてもらえますか？

Mitsui Consultants Co., Ltd. 三井共同建設コンサルタント株式会社

3. 洪水吐きの目的って知ってますか？

ダム式の調整池においては、堤体からの越流が堤体の破壊と結びつく可能性が大きいことから、洪水吐きを設置します。
なお設置に際して、洪水吐きの設計流量は、長期的な観測データに基づき、例えば年超過確率1/200年の降雨強度式からピーク流出量を算出し、その1.2倍とすることがあります。
また、100年に1回発生すると算定される流量の1.5倍以上とする場合もあります。

Mitsui Consultants Co., Ltd. 三井共同建設コンサルタント株式会社

3.弊社からの情報提供

弊社では流域治水に関連する様々な業務を実施しています。加えて、MCC 研究所においても様々な技術研究を行っています。今後も業務・研究において流域治水に資する取り組みを継続・強化していきます。技術的な相談については下記 URL からお問い合わせ下さい。

<https://www.mccnet.co.jp/>